

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育DXの推進と多様な学習形態、対話、交流等の効果的な位置づけにより、個別最適な学びと協働的な学び、探究的な学びの充実を図る。</li> <li>研究推進委員会による検討を通して、学び方の向上を図る。</li> <li>子どもの願いを生かした創造的・自治的な活動を展開し、自己実現する力を育成する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロイノートを活用し、対面での交流だけでなく、投稿された他児の学習成果を自分の学習に生かすなど、多様な交流を通し、学びの充実を図ることができた。</li> <li>全校研究授業を通し、ロイノートを活用したり、進度に合わせた支援をしたりする国語「書く」授業のあり方を共有し、他学年での実践につなげることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが、タブレットや電子黒板等を自在に使いこなしていることに驚かされる。直筆で書くことも大切にしていきたい。</li> <li>書く力や対話力が身に付くよう、今後も指導をお願いしたい。</li> <li>特に国語は、年を重ねてからもとても大切になって来ると思われるので、大切に授業を行ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、とりわけ対話的な学びを大切にしていこうと意図して、授業を進めていく。</li> <li>デジタルでの学びだけでなく、時と場に応じて、従来のアナログな学びも取り入れていく。</li> <li>書く、聞く、読む活動を充実する。</li> </ul>
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩や岐阜市の人、もの、ことに関わる学習活動を充実させ、自分とつながって探究する学びを創る。</li> <li>藍川中学校校区3校で目指す子どもの姿を共有すると共に、幼保とも交流活動を行うなどして、連携した指導に努める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の講師を生かし、現地に赴いたり、実際に話を聞いたりする活動を通し、地域のもの、ことに関わりながら自分とのつながりを考え、学びを進めることができた。</li> <li>なかよし活動やなかよし掃除など、他学年と関わる活動の充実を図り、多様な場を通して中学校区の目標である「コミュニケーション力の向上」につなげることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インリーダーの児童と一緒に活動したときに、来場者に対してわかりやすく説明する姿を見ました。</li> <li>「なかよし活動」について子どもからよく聞く。他学年との交流が図られていて、よい。</li> <li>新しい試みに取り組んでおられ、敬服します。</li> <li>幼保との交流も進めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との連携に加え、小中連携、さらに幼保小の連携にも力を入れていく。</li> <li>地域アドバイザーと共に学習する機会を引き続き発展して行う。</li> </ul>
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業力と人間性を磨き、効果的な教育活動を行う。</li> <li>ICT活用とチーム制を用いて、業務の効率化を図る。</li> <li>個々の職員のよさを認め合い、相談しやすい雰囲気や環境をつくる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業には学年部の職員だけでなく、できるだけ多くの職員で参観し、研修することができた。</li> <li>ロイノートを活用した会議提案や周知事項の連絡など、業務の効率化を進めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の長所・短所をお互いに理解し、良い方向へと進めてほしい。</li> <li>どの職員の方にも、明るい笑顔と挨拶で対応してもらっています。</li> <li>授業力を高めるため積極的に自身の授業を公開したり、優れた実践に学んでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き授業研究会や実践交流を通して、授業力を高めていく。</li> <li>職員同士が何でも話せる雰囲気・環境づくりに今後も努める。</li> </ul>
子どもたちが安心して学べる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>自他のよさや違いを認め合う取組を継続的に行う。</li> <li>教職員や地域の方が声かけや励ましを通して個々のよさを認め、児童に伝える。</li> <li>地域の方やPTAと協働して、挨拶を啓発する取組(あいさつ運動)を継続して行う。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ばかばかの山(全校よさ見つけ)」の取組では、全校の子どもが学年を超えてよさを見つけ、毎日、お昼の放送や掲示を通して、伝え合う活動を継続した。あたたかい人間関係を築くことができた。</li> <li>進んで挨拶することの評価では、児童が96%に対し、保護者は70%と結果に差が出た。さらに取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「よさ見つけ」の取組は、いじめ対策で最も効果があると思う。継続してほしい。</li> <li>自分たちのよさを見つけて芽が育っていて素晴らしい。自己肯定感にもつながる。</li> <li>挨拶の取組は、気長に継続して行ってほしい。挨拶することは、自己アピールにもつながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いじめ見逃し0」となるよう、引き続き組織的に取り組む。</li> <li>「よさ見つけ」のよさを職員間だけでなく児童とも共有し、今後も継続する。</li> <li>地域、PTAと連携して、あいさつ運動を今後も継続、発展する。</li> </ul>
災害、事故、感染症、生徒指導事案等に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理マニュアルを作成し、共通理解を徹底する。</li> <li>生命の尊重への理解を深める指導を計画的に位置づける。</li> <li>些細な児童の言動に敏感になり、生徒指導事案の未然防止に努め、いじめや問題行動に迅速かつ組織的に対応する。</li> <li>不登校傾向の児童や、その保護者に対し、継続的に関係諸機関との連携を図り、支援する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在起こりうる様々な災害等に適切に対応することができるようにするため、危機管理マニュアルをさらに充実させていく必要がある。</li> <li>生徒指導事案等への未然防止につなげるために、さらに適切な初期対応をし、組織的に対応していくように努める。</li> <li>不登校児童に対しては、関係諸機関との連携をさらに図り、可能な支援策を探りながら、適切に講じていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登校時間外に登校した児童に対し、ていねいに優しく対応する職員の姿を何度か見ました。</li> <li>不登校児童は、まわりが気付かない間に心を閉ざしていくことがあるので、子どもたちの情報を細かく聞き、対応できたらと思う。</li> <li>常に誰もが入れる環境であるのは気になるが、臨機応変に対応したい。</li> <li>水害時、地域によって被害が様々なので、地域に合わせた配慮が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員、児童共に、想定外リスクへの対応力を高めるため、さらに様々な訓練を計画し、実施する。地域との連携のあり方も模索していく。</li> <li>不安を抱えた児童の居場所づくりや、関係諸機関との連携をさらに図りながら、対応を進めていく。</li> <li>地域の実情を踏まえ、危機管理マニュアルを改善し、訓練や研修につなげる。</li> </ul>
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校事故の未然防止のため、定期的な設備の点検を実施し、安全な環境管理に努める。</li> <li>施設設備、教材等及び予算の適切かつ効果的な活用を全職員で工夫し、管理する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の安全点検を通して、市へ修繕を要望したり、学校予算を適切に活用して環境整備につなげたりしながら、安全な環境管理に努めることができた。</li> <li>学校予算やPTAの活動補助費を活用し、体育等で使用する用具等を購入して、学習活動の充実につなげることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館の冷暖房はありがたい。</li> <li>石山(使用禁止中の遊具)を何とかしてほしい。</li> <li>必要要望は、学校から市教委へだけでなく、関係各方面から複線で要望したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の現状を保護者、地域とも共有し、修繕の要望につなげていく。</li> <li>放課後の運動場開放について検討する。</li> </ul>